

自分らしい葬送を考える企画展

2007

[会場] [日時]

11/29
木

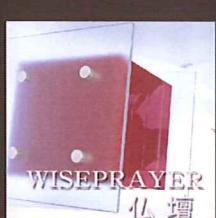
30
金

12/1
土

開場
10:00
～
16:30
29日
は
10:30
開場

大阪市立「福島区民センター」3階会議場
(大阪市福島区吉野3-17-23)

入場
無料



あなたを
感じて
いたいから

3日間通し企画

- 目からウロコの葬送情報の展示
 - ・スタッフによる案内ツアーも随時あり
- 全国の手元供養品が一堂に！(約100点)
- 葬送に関する無料相談(専門家常駐)
 - ・手元供養及び供養一般
 - ・散骨・樹木葬・永代供養墓
 - ・お墓の引越し(改葬)

初日限定企画

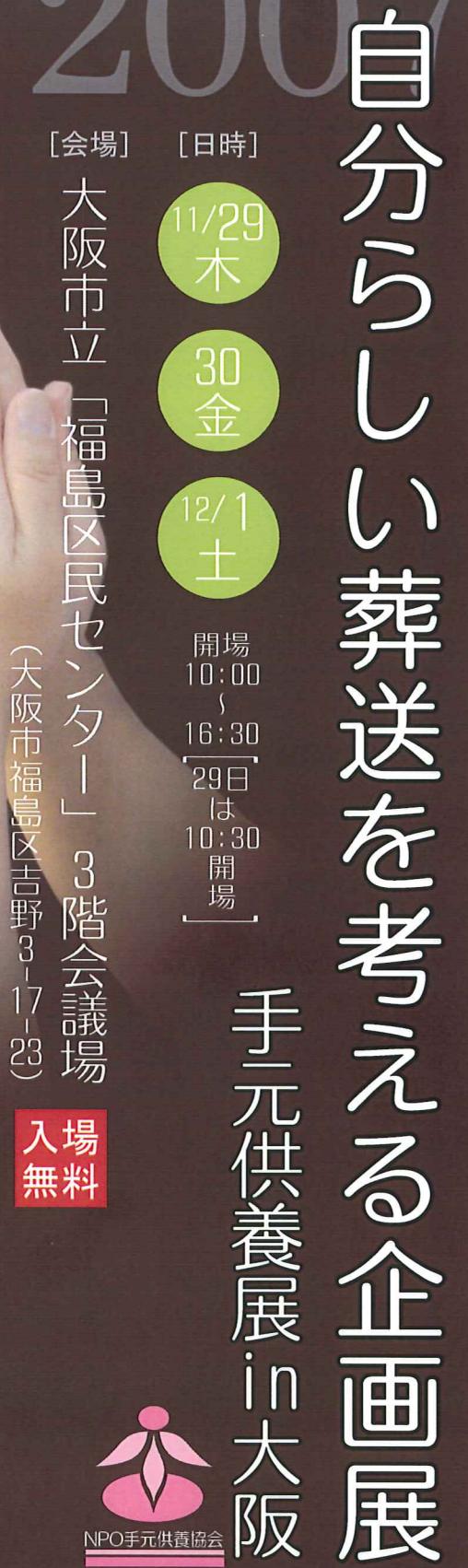
■ 葬送を考えるフォーラム[29日]

【午前の部】(10:50～12:30)

- ・人生のラストステージと永代供養
〔講師: 大蓮寺住職/秋田光彦氏〕
- ・手元供養とは
〔講師: NPO手元供養協会会長/山崎譲二氏他〕

【午後の部】(13:30～15:40)

- ・海洋散骨の実際(海帰葬)
〔講師: クレリシステム/小嶋義之氏〕
- ・樹木葬「庭園葬」の実際
〔講師: 西寿寺住職/村井定心氏〕
- ・お墓の引越し(改葬)の実際
〔講師: メモリアルアートの大野屋/小西良和氏〕



[主催] NPO手元供養協会

[協賛・協力]

大蓮寺エンディングを考える市民の会
樹木葬寺 西寿寺
海洋散骨サービス(株)クレリシステム
(株)メモリアルアートの大野屋(順不同)

【お問い合わせ】NPO手元供養協会事務局 075-315-3370(博國屋内) <http://www.temoto-kuyo.org/>

入場無料、参加申込みは不要です。 お気軽にご来場ください。

初日限定企画

葬送を考えるフォーラム

11/29 木

場面にも大きな変化があきて
ます。「自分ら
しい最後を迎
たい」「子ども
に迷惑をかけた
人生の最終ステ
ージを満足でき
くない」
るようと一緒に
るよ
うに一緒に
考
えま
しょ
う。

【午前の部】10:50～12:30

講師プロフィール

*敬称略

だいれんじ おうてんいん
「大蓮寺／應典院」

- なにわの名刹。浄土宗寺院。
- 寺を地域の文化、社会活動の拠点に開放塔頭の應典院はNPOや若いアーティストの拠点として開放され、日本でいちばん若者が集まるお寺として知られる。
- また、人生の末期を支援するエンディングサポート事業を展開、葬送や供養の今後の課題にも正面から取り組んでいる。歴史ある大蓮寺の永代供養墓「自然（じねん）」は、新しい取り組みで人気が高い。

秋田光彦

大蓮寺／應典院住職／上町台地からまちを考える会代表理事。浄土宗「共生・地域文化大賞」の運営委員長等。仏教大学や立命館大学などで公開講座も。大阪で最も人気のある住職

てもとくよう
「NPO手元供養協会」

- 2005年6月、日本の主だった「手元供養品」を扱う全国7社の代表者が発起人となり「NPO手元供養協会」が設立され、現在会員のボランティア活動で手元供養文化の普及や新しい葬送情報の提供活動をしています。
- 協会発足以来、全国8都市（札幌、東京、神奈川、大阪、福岡、名古屋など）で「手元供養展」を開催し手元供養品や樹木葬や散骨、永代供養墓など新しい葬送情報の提供、一連の葬送の流れや各段階のチェックポイントの葬送情報展示、相談コーナーも設置し、来場者も延べ2,150人を数えている。

山崎譲二

NPO手元供養協会会长
父の死をきっかけに手元供養を発想。協会会长として手元供養の普及に全国をとびまわる。著書「手元供養のすすめお墓の心配無用」祥伝社新書



「篠クレリシステム」

- 昭和63年11月設立のクレリシステムは、生活協同組合コープこうべと業務提携しクレリ事業を共同展開してきた兵庫葬連（県知事認可経済産業省認可全葬連所属団体）の関連会社である。
- 海帰葬（海洋散骨サービス）を平成13年4月よりスタートさせた関西海洋散骨サービスの草分け。

小嶋義之

篠クレリシステム海帰葬担当
100件を越える海洋散骨に立ち会うベテラン



「樹木葬寺西寿寺（京都・泉谷）」

- 浄土律・捨世派の念佛修行寺。
- 既存の墓地の一角、230m²をみんなに入る共同の庭園墓地として整備。1年中花が咲いてるように開花時期の異なる花木15種類が植わっている。
- 多種多様な花木の庭園墓地とは別に、同じシステムだが、桜だけを植えた樹木葬地もある。
- 京都の樹木葬寺として、マスコミに注目され全国的に有名。納骨者も全国から。

村井定心

西寿寺住職（尼僧）京都東山の尼寺に入山し1984年得度。総本山知恩院にて加行満行後、西寿寺に入山



「篠メモリアルアートの大野屋」

- 墓石業界最大手で葬儀サービスも手がける
- ・ウイズ・ペットの墓や、新しいデザインのお墓、永代供養墓、手元供養への取組、リビング葬など墓石、葬送業界の新しいトレンドにも積極的に取り組んでいる。
- ・昨今、関心の高い「お墓の引越し」に数多く実績を持つ。

小西良和

篠メモリアルアートの大野屋
阪神支店長 お墓ディレクター2級。「改葬」の経験も多数持つ

講演テーマ

●「人生のラストステージ」をどう考え、生きればいいか。
また、大蓮寺の「永代供養墓」を紹介

・「人生のラストステージ」、「自分らしい葬送」をどう考え、どう生きればいいかのヒントを秋田住職のお話で一緒に考えてみたいと思います。

・もう一つの話題としては「永代供養」。日本の墓は代々継承者を決めてその人が管理料を納め永代に使用していくシステムでした。ところが戦後、核家族化や少子化の進展だけでなく、子どもが多いなかったり、いても女の子だけ、あるいは生涯結婚しない人も増え後継者がいることを前提とする従来のお墓のシステムに合わないケースが増えてきました。そこで、墓を支える母体が従来の家族ではなくお寺だという「継承を前提としない墓＝永代供養墓」の利用が広まっています。大蓮寺の永代供養墓「自然」を例に永代供養の実際をご紹介頂きます。

●新しい供養のカタチ「手元供養」

・手元供養は、故人のお骨を供養の対象として、いつでも「手元」で「故人」を偲べる、新しい供養として急速に利用者を増やしています。近年マスコミからも注目され、NHKを始め新聞、書籍などで広く紹介されています。

・使われ方は大きく2つのケースに分かれ、一つは逆縁（早世した子ども）や、お骨を手放す淋しさに耐えられない方の、悲しみを癒すグリーフケアの対象としての使われ方。それでもう一つは、お墓の代わりとして使うケースです。

・会場では全国から手元供養品100点余の実物がご覧いただけます。どのような思いで手元供養品が作られたのか？どういう人がどのような使い方をしているか？など、貴重な話を聞くことができます。

【午後の部】13:30～15:40

●海洋散骨サービスの実際

- ・散骨は死んだら自然に還るという自然志向派や、墓の継承が難しい人、暗く狭いお墓を嫌う人、無宗教者、それに経済性なども手伝い毎年数を増やしています。現在まで7年間で施行合計200件を超える関西地区では最大の実績を誇る。クレリシステムのベテラン担当者小嶋氏から映像を見ながらお話を頂きます。
- ・海洋散骨とはどういうものか。
- ・散骨場所は？ 費用は？ 粉骨は？ 等など。

●樹木葬（庭園葬）の紹介

- ・樹木葬は、「自然に還ることができる。そして地中深く埋められた自分の骨が墓標替わりの花木の栄養となり、木に生まれ変わり毎年時期が来ると美しい花を咲かせてくれる」というロマンティズム」「継承者がいなくてもいい」「費用面からも生前の通信費程度の管理費と納骨時の費用だけであり、子どもたちに負担をかけない」といったところが人気で、急速に利用者を増やしています。
- ・樹木葬を実施している、京都西寿寺の村井住職をお招きし、西寿寺の樹木葬について、どういったものか？費用はどのくらい？どのような人が納骨しているのか？など貴重なお話を聞けます。

●お墓の引越し(改葬)

- ・団塊の世代と、その少し上の世代が、今後の墓の継承を考えて動き出しています。今、故郷を離れて都心で暮らす人を中心に、改葬への関心が高まっています。
- ・改葬を行うには、元の墓の管理者が発行する埋蔵証明書や、自治体が発行する改葬許可証の取得が必要です。元の墓所を更地にする工事代金も負担しなければならないなど様々な手続きや決まりがあります。今回のフォーラムで分かりやすく解説。日頃気になることを聞いてみては？



NPO手元供養協会

2007年10月作成